

ランジェ公爵夫人 (2007)

NE TOUCHEZ PAS LA HACHE
LA DUCHESSA DI LANGEAIS
DON'T TOUCH THE AXE

メディア 映画

ジャンル ドラマ ロマン스 文芸

製作国 フランス/イタリア

色彩 Color

時間 137分

初公開日 2008/04/05

公開情報 セテラ・インターナショナル

【キャッチコピー】

ふたりの魂が織りなす愛の深淵

将軍は手負いの獅子のように激しく

公爵夫人は薔薇のように気高く――

【解説】

フランスの巨匠ジャック・リヴェット監督が、「美しき諍い女」に続き再び文豪バルザックに挑んだ文芸ロマンス。19世紀初頭のパリ貴族社会を舞台に、気高き公爵夫人が無骨な将軍に恋愛ゲームを仕掛けたばかりに、それぞれに思いもよらぬ運命を辿るさまを格調高く描き出す。主演は「恋ごころ」のジャンヌ・バリバールと「ポーラX」のギョーム・ドパルデュー。

19世紀初頭のパリ。社交界の華、ランジェ公爵夫人は、舞踏会でナポレオン軍の英雄モンリヴォー将軍と出会う。いまや時の人となったモンリヴォー将軍に興味を抱いたランジェ公爵夫人は、彼を自宅に招き冒険譚を語らせる。あっという間にランジェ公爵夫人の魅力に心奪われてしまったモンリヴォー将軍だったが、ランジェ公爵夫人の思わせぶりの振る舞いに翻弄され続けることに。業を煮やしたモンリヴォー将軍は、彼女を誘拐するという強引な手段に打って出る。思いがけずこれがランジェ公爵夫人の心に火をつける。一転して立場は入れ替わり、モンリヴォー将軍を熱烈に求め始めるランジェ公爵夫人だったが…。

【クレジット】

監督 ジャック・リヴェット Jacques Rivette

製作 モーリス・タンシャン Maurice Tinchant

マルティーヌ・マリニャック Martine Marignac

ルイジ・ムジーニ Luigi Musini

ロベルト・チクット Roberto Cicutto

エルマンノ・オルミ Ermanno Olmi

原作 オノレ・ド・バルザック Honore de Balzac

『ランジェ
公爵夫人』

脚本 パスカル・ボニゼール Pascal Bonitzer

クリスティーヌ・ローラン Christine Laurent

ジャック・リヴェット Jacques Rivette

撮影 ウィリアム・リュプ chansky William Lubtchansky

美術 マニユ・ド・ショヴィニ Manu de Chauvigny

衣装 マイラ・ラマダン・レヴィ Maira Ramedhan Levy

音楽 ピエール・アリオ

Pierre Allio

出演 ジャンヌ・バリバール

Jeanne Balibar

アントワネット・ド・ランジェ
公爵夫人

ギョーム・ドパルデュー

Guillaume Depardieu

アルマン・モンリヴォー将軍

ビュル・オジエ

Bulle Ogier

ブラモン＝ショーヴリ妃

ミシェル・ピッコリ

Michel Piccoli

ヴィダム・ド・パミエ

マルク・バルベ

Marc Barbe

トマ・デュラン

Thomas Durand

ニコラ・ブショー

Nicolas Bouchaud

バーベット・シュローダー

Barbet Schroeder